

コロサイ人への手紙 第3章 2節

「あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。」

獄中からこの思いを手紙に託して放ちます。いのちの行く末が定かでない状況に置かれている者が、遠くのキリスト者に届ける思いです。是非届けなければならぬ思いです。途中で何が起こるのかわかりません。それでもとにかく送り届けようと放たれた手紙です。

あなたがたは、と呼び掛けています。手紙を放ったときには、既に届くことを確信していたでしょう。だから、遠くにいる主に在る仲間たちに向かって、あなたがたといえるのです。これが最後の手紙の可能性もあります。その思いも込められた呼びかけです。手紙が届き、思いを受け止めてくれる教会があるから、あなたがたと呼びかけます。

呼びかけの内容は、地上のものを思わず、であります。地上においては主イエスに従うゆえに、投獄され、いのちさえ危うい者からのことばです。それが、地上のものを思わず、であります。獄中に在る者からの勧めです。

思うべきことは、天にあるものです。とこしえのものをこころに留めなさいです。どこでも、いつも主なる神を思うことを牢獄から届けます。

2024年7月3日